



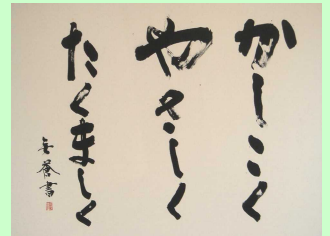
学校だより

知新っ子

旭川市立知新小学校

平成29年2月10日発行

No. 17



私たち大人は、よき「お手本」になっていますか？

校長 川島 政吉

3学期が始まり、インフルエンザの影響で一部学年閉鎖もありましたが、スキー授業も無事に全日程を終えることができました。また、21日は第6学年、27日は他の全ての学級で、今年度最後の参観日になります。是非、知新っ子の1年間の成長の様子を見ていただき、担任との懇談会に参加し、より詳しい成長の様子や進学・進級を控えて大切なことを聞いたり、不安なことを相談したりしてほしいと思いますので、お子さんのために足を運んで下さい。さて、今回は、大人が意識して示す「お手本」と、無意識のうちに示している「お手本」について考えてみました。日頃から、我々大人は、子どもの前で「何事に対しても、よいお手本でありたい」と考えて行動しています。

しかし、実際、そのことを常に意識して子どもの前で行動しているのでしょうか。さらに、最近の子どもたちは、我々大人が知らない間に、テレビ・ゲーム・インターネット等から、良いものだけでなく、悪いお手本に接する機会が増えています。

このようなことから、子どもは、一番身近にいる保護者や地域の方、そして学校の教員、同級生・上級生が、普段から意識的に、「よきお手本」を示していくことで、自然にソーシャルスキル（対人関係における、挨拶・依頼・自己主張などの技能。社会的スキル。）を身に付けることができる。私は考えています。

- 例えば、◇約束やきまりは守るんですよ。
- ◇挨拶は相手の人の顔を見て、大きな声でするんですよ。
- ◇決めたゲームの時間やテレビを見る時間はきちんと守るんですよ。
- ◇毎日、家庭学習や読書はするんですよ。
- ◇誰に対しても優しく接するんですよ。
- ◇人の陰口を言うんじゃないですよ。などと



日常的に子どもに話をしている我々大人自身が、「よいお手本」として行動している姿や苦労している姿を示していくことに説得力があり、それが子どもの心にじわじわとしみていき、身に付き、行動につながっていくのだと思います。ただ、即効性は期待できないので、何回も手間をかけ、何日も時間をかけて、お手本を継続して示していく必要があります。

しかし、ちょっとでも、油断をしていると、子どもは、大人にとって都合のよい、楽をしている行動（悪いお手本）が目がいき、まねをします。

- 例えば ◎宿題や手伝いをさせながら、自分は別な仕事している～頑張る意欲が低下する
- ◎本を読ませながら、自分は携帯電話を見ている～携帯の方が楽しいと思う
- ◎目的地の最短距離として、横断歩道を使わず、斜め横断をする
～近道をしようと、子どもも同じように斜め横断をする
- ◎友人と話しをしている時、その場にはいない人のマイナス面を話題にする
～友だちの陰口を容認したり、自分でも言ったりする
- ◎家族間で、朝など挨拶を交わすことがない～挨拶の習慣が身に付かない など

大人が気付かないうちに、子どもは、大人の行動から学び、悪いお手本を当たり前のように見習ってしまうことがあります。さらに、学年が上がると、大人のように楽をしたいという気持ちが先行し、まねて行動したり、大人が話していることと実際の行動が伴わないため、大人の話しを否定的に捉え、聞き入れなくなったりします。

私たち大人は、自分に都合がよく、意識もせずに行ってきたこれまでの行動を振り返り、無意識でも、よき「お手本」として行動できるよう気を付けていく必要があるのではないのでしょうか。そして、子どもが、大人のよき「お手本」を参考にし、自分で行動しながら、どのようにしたら上手く、早くできるのか考え、責任をもって行動できるようになってもらいたいです。

今後も、知新小学校は、子どもたちのために、保護者や地域の方々と、連携して「お手本」となる教育活動を推進してまいりますので、ご家庭でも、ご協力・ご支援を、よろしくお願いいたします。



スキー授業を実施しました。

2月1日と8日にスキー授業をサンタプレゼントパークスキー場で実施しました。1回目は、インフルエンザ等による学級閉鎖のため、5年生は参加できませんでしたが、2回目は、全学年が参加しました。

各学年とも3つのグループに分かれて、スキー学習を進めました。シユブグループの指導員、保護者ボランティアの皆様のご協力とご支援のおかげで、安全に指導することができました。ありがとうございました。



子どもたちは最初、恐る恐る滑っていましたが、2本目、3本目になるとすっかり慣れ、指導者の指示をしっかりと聞きながら滑走していました。スキー授業を通して、スキーの技術向上はもちろん、集団行動をしっかりと行ったり、冬の自然の美しさや素らしさなどを体験したりする機会がますます増えると思います。旭川でも、スキー人口が年々減少していると言われています。身近な場所に素晴らしいスキー場がありますので、学校の授業以外にもご家族でスキーを楽しみましょう。



学校関係者評価委員会を実施しました。



1月24日、31日の両日に学校関係者評価委員会を実施しました。本委員会では、2学期末に実施した学校評価の客観性や透明性を高め、開かれた信頼される学校づくりを目指し、自己評価を基に、学校関係者による評価を行いました。そのために学校評議員の宮本様、金山様、佐々木様、吉岡様と地域委員の西倉様、保護者委員の佐藤 PTA 会長、橋本 PTA 副会長の7名の皆様に評価書（自己評価をまとめたもの）に対して様々な意見を伺いました。

特に、電子メディアとの関わり方、学力の二極化への対応、中央中学校との連携等について忌憚のないご意見やご感想をいただき、平成29年度の学校経営に生かし、本校の教育目標である「かしこく やさしくたくましく」の実現に向け、努力していきたいと考えています。

お忙しい中、学校に足を運んでいただいた学校関係者評価委員の皆様、本当にありがとうございました。具体的な内容につきましては、文書やHP等で公表していきます。

かみかみ週間が終わりました。



1月30日～2月3日まで、給食で「かみかみメニュー」が出され、子どもたちはかみごたえのある剣先するめ、紫いもチップス等の食材を夢中になって食べていました。事前に、大矢養護教諭がよくかんで食べることやその習慣を付けることの大切さを、全学級で指導しました。その後、担任による指導、保健委員による給食のメニュー紹介等を実施しました。子どもたちは、自分の歯を大切にすること、よくかんで食べると多くのメリットがあることを理解したように感じます。さらに、毎日の生活にも生かすことができるよう、ご家庭でも取り組んでいただきたいと思います。

学校経営訪問がありました。



6年授業参観

遠藤様と木下様

1月31日11:20～11:40に北海道教育庁上川教育局義務教育指導監の木下俊吾様(上記右側写真右)と同じく義務教育指導班主査遠藤直俊様(上記右側写真左)が来校し、学校経営訪問が行われました。知新小学校の2学期以降、特に力を入れて取り組んできたことなどをお話した後、5・6年生の授業を参観し、お二人の方から、学力や体力の向上、学校の組織力を高める取組等についてご助言をいただきました。知新の子どもたちのために、全教職員がチームとして努力を重ね、学習・体力・生活面でさらに成果を残したいと強く感じました。

2月の行事予定

2月14日	中学校入学説明会(6年生)
15日	クラブ
17日	広場準備
20日	諸費納入日(低)
21日	諸費納入日(高) 参観日(6年生・おおぞら)
22日	諸費納入日(全)
24日	6年生を送る会(4校時) 広場ランチ お弁当の日
27日	参観日(1～3年、そよかぜ) 読み聞かせ(4～6年)
28日	参観日(4、5年)

●新1年生1日入学が無事終了しました●

2月10日に新1年生入学説明会を実施し、32名(他2名は体調不良のため欠席)の新入生と保護者に皆様が来校しました。本校の1年生と交流しましたが、1年経つとこんなにもたくましく成長することを改めて感じました。新入生の皆さん、知新小学校の職員一同、ご入学を心からお待ちしています。